

施策の展開

第3次こうなん男女共同参画プランは4つの基本目標で構成されています。そして、視点に沿った具体的施策68事業を挙げています。

基本目標 I 男女共同参画社会を目指す意識づくり

【視点①】男女共同参画理解への啓発

- 1 男女共同参画に関する情報提供を行います
- 2 男女共同参画社会について普及啓発を行います
- 3 性的少数者の理解促進を図ります
- 4 性にとらわれない表現を推進します
- 5 男女共同参画に関する調査・研究を進めます
- 6 職員の研修を行い、職員の意識向上を図ります

【視点②】男女の性別役割分担意識や慣行の見直し

- 1 男性の家事・育児への参画支援に努めます

【視点③】男女共同参画の視点に立った教育・学習

- 1 家庭生活に関する支援を行います
- 2 人権や命に関する教育を充実します
- 3 家庭生活や職業生活へ参加していくための教育を行います
- 4 だれもが参加しやすい生涯学習の場の提供に努めます

【新規に取り組む具体的施策】

- ◎性的少数者に関する学習機会(セミナー・講演会等)の提供
- ◎保育園・小中学校における人権教育の実施

基本目標 II だれもがあらゆる分野で多様な選択ができるまちづくり

【視点①】地域活動における男女平等に参加できる仕組みづくりの促進

- 1 地域活動における男女共同参画に関する普及啓発を行います
- 2 ボランティア活動への参加を促進します
- 3 男女共同参画の視点による地域防災計画を推進します
- 4 団体等が行う男女共同参画に寄与する取り組みを支援します

【視点②】政策・方針決定過程への女性の参画促進(女性活躍推進計画)

- 1 審議会などにおける女性の参画を促進します
- 2 女性職員の管理職などへの登用に努めます

【新規に取り組む具体的施策】

- ◎女性の視点に立った防災対策の推進

基本目標 III 働きやすい環境づくり

【視点①】働く場における男女共同参画の推進(女性活躍推進計画)

- 1 事業者向けの普及啓発に努めます
- 2 女性のチャレンジ支援と人材育成を行います
- 3 男女を問わない優れた人材のデータベースを構築します

【視点②】ワーク・ライフ・バランスの推進(女性活躍推進計画)

- 1 仕事と家庭の両立支援についての普及啓発活動を行います
- 2 家族経営について、パートナーシップがとれるよう啓発に努めます
- 3 地域での子育て支援体制の充実を図ります
- 4 男女平等の視点に立った在宅介護に対する支援に努めます

【新規に取り組む具体的施策】

- ◎女性の活躍促進宣言及びあいち女性輝きカンパニーに関する情報提供と啓発

基本目標 IV だれもが安心して心豊かに暮らせる家庭・社会づくり

【視点①】配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶(江南市DV防止計画)

- 1 DV防止に向けた普及啓発を実施します
- 2 DVに対する相談・支援体制を充実します
- 3 関連機関と連携し、DV等被害者の保護に努めます

【視点②】男女共同参画推進のための社会的支援

- 1 在宅介護に関する知識の普及啓発に努めます
- 2 ひとり親家庭への支援を行います
- 3 外国人への支援を行います
- 4 国際的な動向の情報発信に努めます
- 5 生涯にわたる心と身体の健康づくりの推進に努めます

【新規に取り組む具体的施策】

- ◎リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報提供



育児休業休暇制度 を活用しよう!



育児休業を取得した3人の男性市職員の声を聞いてみました!



Q

育児休業を取得するときに、不安だったことは?

A

(Aさん) 復職する際、時間的にも能力的にも働くことができるのか不安がありました。
(Bさん) 仕事の引継ぎや、収入面のこと、スムーズに職場に復帰できるのか不安がありました。



Q

育児休業を取得して良かったことは?

A

(Cさん) 「育児」をするという事の大変さ、面白さを知ることができました。やってみなくちゃわからないことばかりで、充実の育休期間でした。
(Aさん) 子どもと過ごす時間が多くて、貴重な体験ができたと思います。



Q

今後、パートナーの出産をひかえている男性に向け、メッセージをください。

A

(Aさん) 子どもと向き合う時間が増え、その時間はその時にしか経験できないものなので、機会があれば積極的に育児休業を取得してもらえるといいと思います。
(Bさん) 自分自身の場合、育休を取得する前の不安は実際取得して復帰してみると、それほど問題にはならなかったです。育休を取得したい意向が少しでもあれば、積極的に検討してみてください。
(Cさん) 短期間でもよいので、パートナーのお手伝いではなく、主体的に育児・家事をしてみてください。1日中ずっと子どもと離れずに過ごす生活を数日間続けると、自分の視野が変わります。百聞は一見に如かず、体験できるのは今しかない。この機会を逃すのはもったいないですよ。



「男女共同参画社会の実現」を目指し、市民、地域、職場(企業)、行政が協働して、男女共同参画に関する事業を総合的、計画的に推進していきます。